



「おにたのぼうし」



どんなおはなし？



心やさしい子おに「おにた」の運命は…？

「おにたのぼうし」

作：あまん きみこ



節分(せつぶん)の日の事です。子どもの黒おに、“おにた”がすみついている家も豆まきがはじまり、おにたはその家を出なければならなくなりました。つのをかくす麦わらぼうしをかぶって、さむい雪(ゆき)の中い家はないかとさがしていると、小さな橋(はし)をわたったところにトタン屋根の家を見つけました。

家には、おんなのことおかあさんがすんでいました。

おかあさんは病気(びょうき)でねていました。おにたは、おんなのこをよろこばせてあげようと思い、さむいそとへとびだしていきました。しばらくすると……。



出演者



あい
こだま 愛 さん

宝塚歌劇団(たからづかかげきだん)月組のむすめ役トップをつとめたこだま 愛さんが、『おにたのぼうし』を語り聞かせてくれます。

こだまさんの演じる、心のやさしい子どもの黒おに・「おにた」に注目してください。



番組イラスト／「読んでみよう！」イラスト制作



イラストレーター

櫻井 砂冬美(さくらい さとみ)

